

使徒信条

わたしは、天地の造り主、全能の父なる神を信じます。

わたしは、そのひとり子、わたしたちの主、イエス・キリストを信じます。主は聖霊によってやどり、処女マリアから生まれ、ポンティオ・ピラトのもとで苦しみを受け、十字架につけられ、死んで葬られ、陰府にくだり、三日目に死者のうちから復活し、天に昇って、全能の父なる神の右に座しておられます。そこから来て、生きている者と死んでいる者とを審かれます。

わたしは、聖霊を信じます。聖なる公同教会、聖徒の交わり、罪の赦し、からだの復活、永遠のいのちを信じます。アーメン

主の祈り

天にまします我らの父よ、願わくは御名をあげさせたまえ。

御国をきたらせたまえ。

御心の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

我らの日用の糧をきょうも与えたまえ。

我らに罪を犯す者を、我らが赦すごとく、

我らの罪をも赦したまえ。

我らを試みにあわせず、悪より救い出されたまえ。

国とちからと栄とは、限りなく汝のものなればなり。アーメン

初めて礼拝に参加なさる方への御案内

- ・教会の礼拝は、信者だけのものではありません。どなたでも、いつでも参加できます。
- ・礼拝は、「見えない神と対面するとき」です。砕かれた自分を携えて礼拝に臨みましょう。
- ・礼拝では、イエス・キリストを証言する聖書を読み、その聖書を説き明かす説教が行なわれます。イエス・キリストの御言葉と生きる姿を通して、私たち自身の生きる道を尋ねましょう。
- ・礼拝では、讃美歌を歌い、祈ります。これらは神への信頼を表し、また神の恵みに応えて感謝を捧げるものです。
- ・礼拝では、自分自身をささげて神に従う献身のしるしとして、献金を捧げます。今は、献身のしるしとして捧げる事は難しいと感じる方が、神への感謝のしるしとして捧げることもまた礼拝に相応しいことです。人の目や金額の大小を思わず、心のままにお捧げ下さることは、神と人ともに仕えて生きる新しい歩みの第一歩となるはずです。



←礼拝ライブはフェイスブックから

週報はホームページにも掲載→



礼拝 毎日曜 午前10:10より
日曜学校 毎日曜 午前9:30より
祈り会 毎水曜 午前10:30より
午後6:30より(今週は6:00より)

*キリスト教Q&A, 教会の歴史講座など随時

*牧師との面談を希望される方はご連絡下さい。

週報

2024. 12. 29



すべての人に恐れが生じた。使徒たちによって多くの不思議な業と行なわれ、行われていたのである。信者たちは皆一つになって、すべての物を共有にし、財産や持ち物を売り、おのおのの必要に応じて、皆がそれを分け合った。そして、毎日ひたすら心一つにして神殿に参り、家ごとに集まってパンを裂き、喜びと真心をもって一緒に食事をし、神を賛美していたので、民衆全体から好意を寄せられた。こうして、主は救われる人々を日々仲間に加え一つにされたのである。

(使徒言行録2:43~47)

日本キリスト教会

札幌豊平教会

送金には、郵便局から振替口座のご利用を。振替：02790-7-9082
口座名義：日本キリスト教会札幌豊平教会

〒062-0906 札幌市豊平区豊平6条3丁目5-15

電話 090-8863-7316

新メール contactch@ccj-toyohira.church

新HP <https://ccj-toyohira.church>



降誕後節第1主日礼拝

司式 長老杉中一郎

奏 楽

大和田真理子

招きの言葉：イザヤ54：10

■山が移り、丘が揺らぐこともあろう。しかし、わたしの慈しみはあなたから移らず、わたしの結ぶ平和の契約が揺らぐことはない、あなたを憐れむ主は言われる。

讃美歌 I-6

悔い改めの言葉：イザヤ45：23

■わたしは自分にかけて誓う。わたしの口から恵みの言葉が出されたならば、その言葉は決して取り消されない。わたしの前に、すべての膝はかがみ、すべての舌は誓いを立て、恵みの御業と力は主にある、とわたしに言う。

讃美歌 I-545

聖書 ローマ4：16b～17 (新p278)

祈り

讃美歌 I-68

説教 「わたしたちすべての“父”

牧師 稲生義裕

讃美歌 I-100

信仰告白 使徒信条(週報裏面)

献金

主の祈 (裏面に)

頌栄 I-541

祝祷

アーメン三唱

後奏 (聴いた御言葉と派遣されて行く者としての理想を覚えて、各自黙祷を)

きょうの聖書

16b 恵みによって、アブラハムのすべての子孫、つ

まり、単に律法に頼る者だけでなく、彼の信仰に従う者も、確実に約束にあずかれるのです。彼はわたしたちすべての父です。

17「わたしはあなたを多くの民の父と定めた」と書いてあるとおりに。死者に命を与え、存在していないもの呼び出して存在させる神を、アブラハムは信じ、その御前でわたしたちの父となったのです。

—2024年2月4日総会にて決議—
«2023年度主題» 『他者のために、地域と共に』
聖書 申命記6:4～5/使徒言行録2:43～47

礼拝後 高校生以上の集い 朝ご飯弁当準備

今週の集い

- ・30日(月)7:30 朝弁当手渡し(9:00 路上での手渡し)
- ・1日(水)祈り会：休会します
- ・2日(木) 10:00～弁当の仕込み
(10:30 移動スーパー教会駐車場に來訪)
- ・3日(金)12:30 とよひら食堂 (12:00 札幌バプテスト・12:30 豊平教会・ディバイディにて手渡し、12:10 路上での手渡し)

牧師の予定 (省略)

次主日の予告 (2025年1月5日) 聖餐執行

礼拝 降誕後節第2主日 (ライブ配信)
 聖書 ローマ4：4：18～22 (新p279)
 説教 「見えない約束への信頼」
 讃美歌 21-10, 26, 58, 268, 78, 24

司式：長老大和田真理子 奏楽：新井かおり

礼拝後 聖書素読の会 高校生以上の集い
1月定期小会

報告

- ・22日(日)礼拝出席 54, 子ども 0, 幼児 1, 陪餐 32
礼拝献金 ¥42, 647 高校生以上の集い:休

クリスマス祝会：36名

- ・24日(火)クリスマス・イヴ讃美礼拝：60名
- ・25日(水)祈り会 I：8・II：3

ケーキとお茶のカフェ：30+専門学校関係7名

・27日(金)とよひら食堂 270(教会 101, 札バプ 100, 大通 22, 薄野デイバイディ 34, 配達 2, ボラ 25(13)。今年最後のとよひら食堂は、手作りかき揚げの年越し蕎麦とお赤飯。駐車場に設営した仮設食堂でゆったり召し上がって頂いたものの、あまりの冷気に、建物の中に避難してもらいました。それでも年末の楽しい時でした。

お知らせ

*12月30日(月)今年最後の朝ごはん弁当

*2025年の「とよひら食堂」は、1月2日(木)調理、3日(金)の弁当お渡しから始まります。3日には、お正月の楽しみを皆で分かち合おうと、限られた食材の中で御節料理の準備を始め、市民の皆様と一緒に大奮闘をしています。

教会暦の上では、三人の博士が生まれたての主イエスを訪れたとする6日までをクリスマス期間として、新年と併せて喜び祝います。クリスマスの飾りは、1月5日の礼拝後に収納しましょう。

*小会では、今年一年を振り返り、札幌豊平教会の歩みが主にある信仰共同体としての神と隣人の前にいかに生きてきたかを振り返ります。また、戦争責任告白を行った教会として、その後の歩みを検証します。ちなみに2月?発行の『信徒の友』(日本基督教団信徒向け雑誌)に「とよひら食堂」が特集されることとなりました。そこでも「地域に開かれる」「戦争責任を負う」という2点がキーワードとなるようです。他教派の出版局が注目して下さることに感謝と責任を覚えます。私どもは、ますます御言葉に聴き悔い改め、礼拝と奉仕とが一つのものとなる歩みを神にささげましょう。